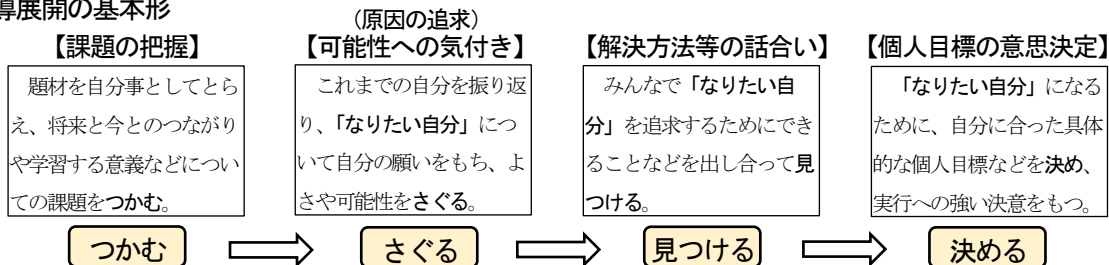


Q1：小学校の学級活動の内容の(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」について、その特質及び題材や指導展開の例を教えてください。

A：小学校に新設された学級活動の内容(3)では、(2)同様、【つかむ→さぐる→見つける→決める】という学習過程を指導展開の基本形として「集団思考を生かした一人一人の意思決定」を行い、その実践を通して自己指導能力を育成する。(3)の特質としては、児童一人一人が「なりたい自分」に向けて意思決定すること、将来に向けた自己実現に関わる実践であることが挙げられる。

以下に、題材や指導展開の具体例を示す。

1 指導展開の基本形



2 指導展開の例

< 題材「進んで取り組む自主学習」【高学年の例】 > (ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用)

	児童の活動	指導上の留意点 (○) と評価 (☆)
つかむ	1 自分の夢について確認する。 ○事前アンケートを活用して、自分の夢(なりたい職業、理想の大人像など)について、確認する。 ・私は、洋服のデザイナーになりたい。 ・まだ決めてないけれど、僕はスポーツ関係の仕事がしたい。 ・人の役に立てる人になりたい。	○どの児童の夢も肯定的に受け止めるとともに、具体的に将来を描けない児童には、無理に決めなくてもよいことを伝える。
さぐる	2 自分の夢の実現に必要な学習について考える。 ○自分の夢の実現に関係ある教科の学習について考える。 ・デザインをバランスよく描くには、図工だけでなく算数も大事。 ・チームのみんなとよりよくコミュニケーションを図るためには、国語や外国語を学ぶことは必要だ。 ○考えたことをグループで話し合い、アドバイスし合う。 ・将来、世界で活躍できるようになるためには、社会科や外国語の学習も大切。	○自分の夢の実現に向けて、どの教科のどのような学習が関連するか、考えをまとめられるワークシートを用意する。 ○グループでの話し合いの場を設定し、互いにアドバイスできるようにする。
見つける	3 自分のこれまでの学習内容や学習に取り組む態度を振り返って、気付いたことを発表し合う。 ・将来算数も役立つのに、苦手だからあまり自分から進んで取り組まなかった。 ・わりと長い時間勉強していたけど、言われたことだけやっていた。 4 なりたい自分に向けて、どんなことに気を付けたらよいか、話し合う。 ・苦手な教科の勉強にも取り組む。 ・時間を決めて、「ながら勉強」しないで集中して取り組む。	○友達の夢に対して、否定せず、前向きなアドバイスをするように伝える。 ○自分の学習時間や学習内容、学習に取り組む態度について振り返り、見直すことができるようにする。
決める	5 本時を振り返り、今後の学習についてのめあてを意思決定する。 ・何を、どのように、どの程度学習していくのかについて、自分のめあてを書く。 ※以上のような本時の指導に加え、問題意識を高める事前指導、目標実現への意欲を高める事後指導も充実させ、児童の自己指導能力を着実に育ていくことが大切である。	・個の問題に応じためあてになっているか確認する。 ☆話し合ったことを生かして、何を、どのように、どの程度学習するのかについて、具体的なめあてを書いている。(思考・判断・表現)【めあてカード】

3 その他の題材と指導展開の例

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

題材「4年生になって」【中学年の例】			
つかむ	さぐる	見つける	決める
「4年生で楽しみにしていること」のアンケート結果から課題をつかむ。	上級生の経験談、教師や保護者の思いから、楽しみにしていることを実現するために必要なことや努力しなければならないことがあることを知る。	自分が目指す姿に向けて必要なことや努力しなければいけないことについて出し合う。	みんなで出し合った解決方法を参考にして、自分が目指す4年生になるための自分に合った具体的な目標や方法を決める。

その他の題材例：【低学年の例】「1年生でできるようになったこと」「2年生の1年間」
 【中学年の例】「楽しいクラブ活動」
 【高学年の例】「充実させよう、夏休み」「もうすぐ中学生」

イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

題材「当番の仕事」【低学年の例】			
つかむ	さぐる	見つける	決める
「当番の仕事への取組」についてのアンケート、給食の時間や掃除の時間の様子を記録した写真などをもとに、課題をつかむ。	インタビューや上級生の当番の仕事への取組の映像をもとに、仕事をする中でみんなにも自分にもよいことがあることを知り、当番の仕事の必要性を知る。	みんなの生活に貢献することや自分の役割を果たすためにどんな努力ができるかを出し合う。	みんなで出し合った解決方法を参考にして、自分が当番活動を行うために、特に努力すべきことを決める。

その他の題材例：【低学年の例】「きれいなきょうしつ」「ありがとう きゅうしょくとうばん」
 【中学年の例】「学級のみみんなのために」「みんなのためにはたらくって大切だね」
 【高学年の例】「委員会の仕事」「見つけよう、自分の役割」

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

題材「よりよい学習習慣」【高学年の例】			
つかむ	さぐる	見つける	決める
学ぶことの意義が明確でないまま授業を受けているなどの課題をつかむ。	社会人の方から小学校時代の学びがどのように生きているかについて話を聞き、学び方が大切なことを知る。	将来に役立つ学習の方法や工夫について出し合う。	みんなで出し合った解決方法を参考にして、今の自分の学び方を改善するための具体的な目標や方法を決める。

その他の題材例：【低学年の例】「おはなしめいじん ききめいじん」「たのしきはっ見 学校としょかん」
 【中学年の例】「習かんにしよう、家庭学習」「上手な学校図書館の使い方」
 【高学年の例】「学校図書館の活用」

内容の(3)で扱う活動内容は、児童の現在及び将来の生き方を考える基盤になるものであり、学校の教育活動全体を通して行うキャリア教育や個に応じた指導、支援、相談等との関連を図ることが大切である。児童一人一人が、将来直面する様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会的・職業的に自立していけるよう、学ぶこと、働くこと、そして生きることについて考え、それらの結び付きを理解することや、多様な他者と協働しながら、自分なりの人生をつくっていく力を育むことが必要である。

【参考資料】

- ・指導資料「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）」 H31.1 国研
- ・小学校学習指導要領解説特別活動編 H29.7 文科省